

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	214,216	流動負債	102,786
現金及び預金	111,553	買掛金	3,302
売掛金	99,469	リース債務	387
前払費用	514	未払金	8,294
その他	2,679	未払費用	72,432
固定資産	7,060	未払法人税等	9
有形固定資産	7,052	未払消費税等	10,983
建物	4,651	預り金	3,650
工具器具備品	1,620	賞与引当金	2,590
リース資産	780	その他	1,137
投資その他の資産	8	固定負債	494
その他	8	リース債務	494
		負債合計	103,281
		純資産の部	
		株主資本	117,995
		資本金	30,000
		利益剰余金	87,995
		利益準備金	4,200
		その他利益剰余金	83,795
		繰越利益剰余金	83,795
		純資産合計	117,995
資産合計	221,277	負債・純資産合計	221,277

損 益 計 算 書

〔 自 2022年4月1日
至 2023年3月31日 〕

(単位:千円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,020,072
売 上 原 価		878,371
売 上 総 利 益		141,701
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		124,917
営 業 利 益		16,783
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	1	
そ の 他	37	38
営 業 外 費 用		
そ の 他	18	18
経 常 利 益		16,804
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	380	
損 害 賠 償 金	4,165	4,545
税 引 前 当 期 純 利 益		12,258
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	2,678	2,678
当 期 純 利 益		9,580

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品…先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権について個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支払いに備えるため、将来の支給見込額のうち、当事業年度の負担額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する、主要な事業における主な履行義務は、労働者派遣契約に基づく人材派遣であり、当該履行義務を充足するにつれて、顧客が便益を享受することから、一定の期間にわたり収益を認識しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準の適用が計算書類に与える影響はありません。